

平成30年度 第4回吉川区地域協議会次第

日時：平成30年6月21日（木）
午後6時30分から
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 吉川区地域活動支援事業について

(2) 自主的審議事項等について

(3) 吉川区地域協議会だより（第34号・7月発行）の発行について

5 総合事務所からの諸連絡について

6 その他

7 閉 会

別紙5

平成30年5月29日

吉川区総合事務所長 様

吉川区地域協議会
会長 片桐 雄二

吉川区に係る平成30年度の地域活動支援事業の審査について（報告）

平成30年4月20日付けで依頼のこのことについて、下記のとおり報告します。

記

1 採択すべき事業等について

事業名	歴史と文化のまちづくり事業	尾神岳サマーフェスティバル実施事業
提案者名	歴史と文化のまちづくり研究会	吉川観光協会
市の支払額	744千円	873千円
事業実施者への意見	(なし)	(なし)
事業名	吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業	上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業
提案者名	吉川三大枝垂れ桜を守る会	夢をかなえる会
市の支払額	897千円	145千円
事業実施者への意見	(なし)	(なし)
事業名	スカイスポーツ振興特別事業	長峰城址保存活用事業
提案者名	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	越後長峰城址保存会
市の支払額	630千円	694千円
事業実施者への意見	(なし)	(なし)

事業名	ゲートボール競技会等運営事業	原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進（継続事業）
提案者名	吉川ゲートボール協会	原之町町内会
市の支払額	209 千円	681 千円
事業実施者への意見	(なし)	(なし)
事業名	川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業	/
提案者名	川谷もよりの将来をみんなで考える会	
市の支払額	675 千円	
事業実施者への意見	(なし)	

2 採択すべきでない事業等について

- ① 区の採択基準には合致したが、審査結果の順位により、補助金額（市の支払額）が提案団体の事業実施に必要な補助要望額に不足するため、採択できない事業

事業名	吉川中学校吹奏楽部 地域とのふれあい事業	まちづくり情報の発信推進事業（プリント作業効率の向上と区民及び地域団体等への利用促進を図る）
提案者名	吉川中学校後援会	まちづくり吉川
提案者への意見	(なし)	(なし)

- ② 区の採択基準に定める得点を下回ったため、採択すべきでない事業

事業名	吉川町アマチュア無線クラブ レピター機器更新事業	長峰町内会花いっぱい運動事業
提案者名	吉川町アマチュア無線クラブ	長峰町内会
提案者への意見	(なし)	(なし)

3 配分額に係る残額の取扱いについて

- ・残額 152 千円の取扱い（二次募集の実施の是非等）は、第 4 回吉川区地域協議会で協議するものとする。

吉川区地域活動支援事業追加募集の実施について（実施する場合の案）

■追加募集を行う場合には、以下の内容で実施する。

○補助金額：152,000円

○募集期間：平成30年7月2日（月）から7月11日（水）まで（必着）

○実施方法：①事業の内容／団体等が主体的に取り組む活動に対し、市が補助金を交付する。

②事業を提案できる方／5人以上で構成し、市内で活動する法人又は団体（政治や宗教活動を目的とする法人等又は営利法人を除く。）

③その他詳細／詳細は各町内で回覧される募集要項（4月募集時の内容と概ね同じ内容）を参照

○採点方法：前回同様、委員が採点した結果により、委員全員の平均点に対応した補助率で採択する。

（参考）

○平成30年度吉川区地域活動支援事業採択方針

3 補助率

①審査により採択となった事業の補助率は、原則補助対象経費の100%とする。

ただし、採択事業の補助希望総額が吉川区の配分額を上回る場合や、事業ごとのバランス等の理由により、審査の結果、補助率を調整する場合がある。

○平成30年度吉川区における地域活動支援事業の審査に関する内規

(3) 審査方法など

② 補助額の調整

採択方針により採択事業をすべて100%補助としたときの補助額の合計が、吉川区の配分額を超える場合や、提案内容が100%補助し難い場合は、共通審査基準の委員全員の平均点に応じて、補助率を90～70%の範囲で調整できるものとする。

平成30年度吉川区地域活動支援事業採択方針

吉川区地域協議会

1 目的

吉川区における豊かな地域資源を活かし、いつまでも住み続けたいと思う地域づくりを推進するため、住民自ら自主的・主体的に取り組む事業について、上越市地域活動支援事業の補助採択にあたり吉川区の取扱いを定めるものとする。

2 採択する事業の分野

上記の目的達成に向け、上越市地域活動支援事業の採択審査を行う際、下記の項目に該当する提案事業について採択するものとする。

- ◆地域づくり活動に際し、各種団体と住民の協働や住民主体により行われる取り組みで、より協働性が高く地域の活性化に資する事業
- ◆生活・生産基盤に必要な環境整備に資する事業
- ◆地域文化を守り育て、賑わいを創出する事業
- ◆子育て支援、青少年育成、福祉の充実など支えあいの心を育む事業
- ◆地域づくりを担う人材育成に資する事業

3 補助率

- ① 審査により採択となった事業の補助率は、原則補助対象経費の100%とする。
ただし、採択事業の補助希望総額が吉川区の配分額を上回る場合や、事業ごとのバランス等の理由により、審査の結果、補助率を調整する場合がある。
- ② 国県市等の補助事業に並行して申請しないことを条件に採択した事業については、上記の補助率にかかわらず、国県市等の補助率等と同程度の補助を行う。

4 補助金額

- ① 補助額の上限は原則100万円とする。ただし、効果が吉川区全域に及び、地域の活性化に大いに資する事業等、吉川区地域協議会が認めた場合は、上限を引き上げることができる。
- ② 補助希望総額が予算を上回る場合、補助額の減額や事業に対する条件を付す場合がある。
- ③ 補助金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。
- ④ 補助金の概算払い請求は、行うことができる。

5 審査基準

共通審査基準の公益性、必要性、実現性、参加性、発展性の5項目にそれぞれ5点を配点し、委員全員の平均点が25点満点中13点に満たない場合は不採択とする。

6 プレゼンテーション（計画・企画案・見積もりなどを、会議で説明すること）

提案者は、プレゼンテーションを行うものとする。

7 委員による現地視察

審査に先立ち、必要に応じ、委員全員による現地視察を行う。

平成30年度吉川区における地域活動支援事業の審査に関する内規

吉川区地域協議会

1 目的

吉川区の地域活動支援事業の採択審査にあたり、詳細な事項について定めるものとする。

2 定める項目

(1) 補助対象経費

① 市等の事業と重複した場合の対応

国縣市等の補助事業に並行して申請しないことを条件に、採択することができる。

② 備品の取扱い

原則備品は補助対象外とする。ただし、活動を伴う事業で、提案のあった事業の遂行に必要不可欠であり、特に公益性が高いと認められる場合、対象とすることができる。

③ 飲食費の取り扱い

事業における講師や招待者に対する弁当代などについては、昼を跨ぐなどの条件付きで補助対象と認めるが、ボランティアを含むスタッフなどの弁当代については対象外とする。

(2) プレゼンテーション

委員による提案団体への質疑

提案団体によるプレゼンテーション終了後、委員による質疑については、まず事前に質問票を提出した委員が、その質問票に基づき、口頭で行うこととする。その後、必要に応じその他の質疑を行うこととする。ただし、同一内容の質疑については、事前に申し合わせの上、代表する委員が質疑を行うものとする。

(3) 審査方法など

① 「基本審査」及び「地域自治区の採択方針」における「適合しない」の取扱い

採点票中、「基本審査」または「地域自治区の採択方針」で「適合しない」を選択した場合、その委員における共通審査基準の5項目の採点は、すべて0点として集計する。

② 補助額の調整

採択方針により採択事業をすべて100%補助としたときの補助額の合計が、吉川区の配分額を超える場合や、提案内容が100%補助し難い場合は、共通審査基準の委員全員の平均点に応じて、補助率を90～70%の範囲で調整できるものとする。

平均点と補助率の目安は右図のとおりとする。

もしくは、採択した全事業について、補助額と配分額の按分により最終調整を図ることができるものとする。

平均点区分	補助率
20点以上	10/10
17点以上～20点未満	9/10
15点以上～17点未満	8/10
13点以上～15点未満	7/10
13点未満	不採択

③ 勉強会

審査の前に勉強会を開催する。

④ 提案当事者の審査への参加

提案者及び提案団体の代表者は採点に加わることはできない。ただし、協議に参加することを除外するものではない。なお、提案者及び提案団体の代表者の定義については、個々の事例について吉川区地域協議会の中で協議し決定する。

⑤ 同一団体から複数年にわたり同様の事業提案があった場合の対応

同一団体から複数年にわたり同様の事業提案があった場合は、その都度協議の上決定する。

※この内規を変更する場合は、吉川区地域協議会委員の協議による合意により行う。

吉川区

地域協議会だより

(第34号) 平成30年7月発行

発行 吉川区地域協議会

編集 たより編集委員会

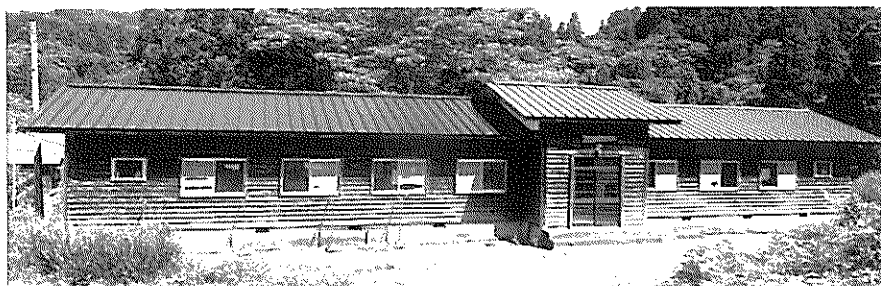
事務局 吉川区総合事務所

総務・地域振興グループ

TEL 025-548-2311

上越市地域活動支援事業（平成30年度 吉川区実施分）

提案事業の審査を行いました



<写真>

○川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業

移住促進の拠点施設として、川谷地域全体で組織する団体が再整備を行う。新たな移住者を呼び込む起爆剤としたい。

今年度は吉川区への配分額 570 万円を大きく上回る、13 事業、補助希望額 902 万 2 千円の提案がありました。5 月 12 日に現場視察と提案者によるプレゼンテーションを実施し、5 月 17 日開催の地域協議会で採点・審査を行いました。

補助金の予算不足を考慮し、止む無く、得点の高い事業から順に内規に定める補助率で採択することと予め決定したうえで審査した結果、11 事業が採択要件を満たすと評価したものの、その内、順位が低い 2 つの事業には少額の予算しか提示できず、提案団体から事業を実施しない旨の意向が示されました。これにより 9 事業を採択すべき事業とし、残額 15 万 2 千円については、追加募集を行うことにしました。

審査した事業は、以下のとおりです。

<採択とした事業>

○歴史と文化のまちづくり事業

・提案者：歴史と文化のまちづくり研究会

・事業費：1,036,790 円

・補助額：744,000 円

・事業の概要：元禄9年の吉川区内に関連する村絵図を複製、展示公開することで地域の成り立ちの歴史等を継承する。また、入河沢城址遊歩道の整備により、地域住民の憩いの場、運動の場とする。加えて、戦後になり途切れつつある伝承・民話を集め、次世代に確実に継承するため、記録集の発行、歴史・民話伝承講座の開催等を行う。

○尾神岳サマーフェスティバル実施事業

・提案者：吉川観光協会

・事業費：1,127,660 円

・補助額：873,000 円

・事業の概要：「サマーフェスティバル」を区内観光拠点の一つである尾神岳で実施し、吉川区のPRと一層の誘客を図るとともに、今年度の取組では、若者に人気の「ラフベリー」のライブを中心に開催し、若者にスカイスポーツに関心を持ってもらうきっかけづくりを行う。

○吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業

・提案者：吉川三大枝垂れ桜を守る会

・事業費：997,164 円

・補助額：897,000 円

・事業の概要：源地域の三大枝垂れ桜のうち、平成28年度に地域活動支援事業の採択を受けて樹木医の治療を行った村屋の枝垂れ桜は、今年、初めて開花した。見物客をより多くするために、報恩寺の枝垂れ桜を元気にするための樹木医による治療を実施するとともに、周囲の環境整備等を行う。

<地域活動支援事業提案事業の審査結果（つづき）>

<p>○上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：夢をかなえる会 ・事業費：344,000円 ・補助額：145,000円 ・事業の概要：上越文化会館と連携することにより、吉川区だけではなかなか実現できないレベルの高い文化活動（林家正蔵他若手落語家による落語会）を開催する。
<p>○スカイスポーツ振興特別事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会 ・事業費：751,280円 ・補助額：630,000円 ・事業の概要：パラライダー大会のCM放送やインターネット配信等により、特に若者層へのPRに力点を置き、スカイスポーツ振興につなげるとともに、賑わいの創出を行う。そのほか、大会歓迎セレモニー、大会の実況解説等、記録映像の撮影・収録を実施する。
<p>○長峰城址保存活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：越後長峰城址保存会 ・事業費：812,000円 ・補助額：694,000円 ・事業の概要：長峰城址本丸遺構（土塁・空堀等）の特徴的な箇所を樹木伐採を行う。また、長岡城・大胡城関係団体との交流、長峰城址見学会の実施、見学コースの整備、周辺の環境美化によって魅力の向上を図る。
<p>○ゲートボール競技会等運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：吉川ゲートボール協会 ・事業費：721,000円 ・補助額：209,000円 ・事業の概要：ゲートボール競技会の運営及び進行の円滑化を図り、また、小学校のクラブ活動やビギナースクールの指導に活用するため、放送機器の整備を行う。
<p>○原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進（継続事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：原之町町内会 ・事業費：852,120円 ・補助額：681,000円 ・事業の概要：町内で発見された乾板ガラスの写真画像をデジタル記録にすることで、地域住民の過去の生活、文化、風景、町並みなど、区内の歴史的映像を次世代に伝承するほか、小中学校での鑑賞会、町内会や区内のイベント等での展示を行う。
<p>○川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：川谷もよりの将来をみんなで考える会 ・事業費：924,622円 ・補助額：675,000円 ・事業の概要：老朽化した交流施設「静山荘」をリフォームするとともに、新たな発想で地域の魅力を体験してもらうイベントを企画することで、川谷地域への移住者を積極的に呼び込む拠点として活用する。また、楽しいことも大変なことも含めて、「川谷で暮らすこと」、「川谷で農業をすること」、「川谷で仕事をつくること」の3テーマを一緒に感じ、考えてもらう体験イベントを行う。

<補助金が不足したことで提案団体が取り止めた事業／不採択とした事業>

事業名	提案者	事業費	補助金の対応	事業内容の概要
吉川中学校 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会	1,030,000円	補助額152,000円では事業実施不可能	吉川中学校吹奏楽部は、地域イベントの賑わいづくりなど、地域を盛り上げる活動に積極的に参加してきたが、使用している楽器が老朽化して修理ができない状態になっている。また、今年度は9月の越後よしかわ酒まつりで新井吹奏楽団との合同演奏を予定しており、この際に楽器別の講習を受け、より質の高い演奏を目指すためにも、チューバ1台、ニューフォニウム1台を購入する。
まちづくり情報の発信推進事業	まちづくり吉川	1,098,522円	補助額152,000円では事業実施不可能	特に力を入れている区内の地域住民への情報提供の取組強化のため、カラー印刷機を導入して紙面の鮮明化、事務改善を図るほか、区内の町内会、各団体にも利用を呼びかけ、地域活動への更なる支援を行う。
吉川町アマチュア無線クラブ レピター機器更新事業	吉川町アマチュア無線クラブ	614,241円	不採択	上越地域のほぼ全域の通信をカバーしている尾神岳アマチュア無線レピターが老朽化しているため、機器を更新するとともに、災害時、緊急時の連絡機能の補完機能として活用する。また、地域の無線愛好家の交流により、愛好家の増加を図るとともに、災害時、緊急時を想定した通信訓練等を行う。
長峰町内会花いっぱい運動事業	長峰町内会	47,000円	不採択	吉川中学校生徒会の花いっぱい運動の呼びかけに積極的に応えることにより生徒会の励みになるとともに、運動の広がりを目指す。具体的な取組として、長峰町内会各所の環境美化を促進するため、マリーゴールド、ピオラの植栽及び除草等の管理を行う。

—地域との意見交換会—

吉川区「出張」地域協議会が区内を一巡しました

平成 28 年の秋から区内の地区ごとに巡回し、地域の皆様と意見交換を行ってきた吉川区「出張」地域協議会が、勝穂地区での開催をもって区内の各地区を一巡しました。参加された皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり、泉谷地区、勝穂地区での様子を報告します。

<泉谷地区>

○日時、場所：平成 30 年 1 月 18 日（木）午後 7 時から、吉川地区公民館泉谷分館で開催

○参加者数：14 人

○当日の意見（抜粋）：

- ・世帯数、人口が減って、事業をするにも縮小傾向になっている。若者が就職すると出て行き、高齢化が進む。原因の一つが就職先、地元の不便さではないか。若者が定着できる施策を議論して欲しい。
- ・県道脇の歩道除雪をして欲しい。通学道路になっていて、小学校 PTA、保護者からも要望が出ている。
- ・空き家が 1 軒あるが、所有者が複雑で壊せない。年々老朽化が進み、いつ崩れるか分からない。県道に面していて、通学路になっている。強制的に撤去してもらえないか。
- ・農業後継者がいなくなり、高齢化で耕作をやめる農家が増えている。農地荒廃と同時に、普請に出られる若い人や集落の役員ができる人も減って、集落の維持が困難になっている。子どもたちが近くで暮らせるいい方法はないか。



<勝穂地区>

○日時、場所：平成 30 年 3 月 15 日（木）午後 7 時から、吉川地区公民館勝穂分館で開催

○参加者数：24 人

○当日の意見（抜粋）：

- ・高齢化が進み、体育祭の参加人数を集めるのも困難になったので考えて欲しい。
- ・業務が集約され、区の総合事務所で即答や解決ができない事案が増えた。施設の利用申込等も、担当課の方針で時間帯が決められていて、地域の実態に合わない。吉川区総合事務所で裁量を持ってできるようにするか、職員がきちんと対応できるようにして欲しい。
- ・災害時、避難所に歩いて行けない人が多くなると誰かが連れて行かなければいけない。人数的に困難なので、避難所までの移動方法を集落ごとのものでなく、他の移動手段を検討して欲しい。
- ・勝穂線では車にすれ違わなくなった。嫁さんや婿さんをもろうにもなかなか結婚できない。近くに雇用がないのが大きな原因の一つではないか。



吉川区地域協議会では、皆様からいただいた意見を『安全・安心部会』、『暮らし・支え合い部会』、『次世代担い手部会』で分担し、対応を協議しています。

自主的審議事項に係る

「防災行政無線に関する勉強会」と 「上越市消防団吉川方面隊幹部との意見交換会」

の取組について

前号の地域協議会だよりに掲載したとおり、吉川区地域協議会では「出張」地域協議会でいただいたご意見等を踏まえて、自主的審議事項として「防災行政無線を含む情報伝達の確保について」と「地域消防団への支援活動及び今後について」の2案件を検討しています。これに関連して地域協議会では、去る2月23日（金）に吉川コミュニティプラザにおいて「防災行政無線に関する勉強会」と「上越市消防団吉川方面隊幹部との意見交換会」を開催し、委員の情報収集と問題点の洗い出しに努めました。

市の担当部局や消防団と認識を共有するには今後も取組が必要と思いますが、情報収集に努めながら、現状を少しでも改善できるよう、審議してまいります。

2018 よしかわ地域づくりフォーラムで各部会長が発表

3月18日（日）に行われた『2018 よしかわ地域づくりフォーラム～気軽に!楽しく!まちづくりを考えるフォーラム!～』において、吉川区地域協議会から「安全・安心部会」の平山部会長、「暮らし・支え合い部会」の上野部会長、「次世代担い手部会」の関澤部会長が発表者（兼パネリスト）として登壇し、部会の取組状況等を発表しました。

地域協議会や各部会の取組をお伝えするとともに、参加者に対して、吉川区の現状の課題を提起する良い機会になりました。

<お知らせ>

上越市地域活動支援事業（平成30年度 吉川区実施分） 追加募集の実施について

表紙の記事でもお伝えしましたが、採択要件を満たすと評価した11事業のうち、順位が低い2つの事業には少額の予算しか提示できなかったため、提案団体から事業を実施しない旨の意向が示されました。このことにより、区への配分額のうち15万2千円が残ったため、追加募集を行うことになりました。追加募集は下記のとおり実施します。

■補助金額：152,000円

■募集期間：平成30年7月2日（月）から7月11日（水）まで（必着）

■実施方法：①事業の内容／団体等が主体的に取り組む活動に対し、市が補助金を交付します。

②事業を提案できる方／5人以上で構成し、市内で活動する法人又は団体（政治や宗教活動を目的とする法人等又は営利法人を除く。）

③その他詳細／詳細は各町内で回覧される募集要項をご覧ください。

募集要項は総合事務所でも配布しています。

【編集後記】

日増しに暑くなり、早いもので一年の半分が終わってしまいました。

平成28年の秋から各地区に伺った「出張」地域協議会が一巡し、地域の生の声、貴重なご意見をたくさんいただくことができました。ありがとうございました。今後、「すこやかなまちづくり」を目指して協議を行ってまいります。地域協議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にお越しください。

第34号たより編集委員

山越 英隆、横田 弘美

吉川区

地域協議会だより

(第34号)平成30年7月発行

発行 吉川区地域協議会

編集 たより編集委員会

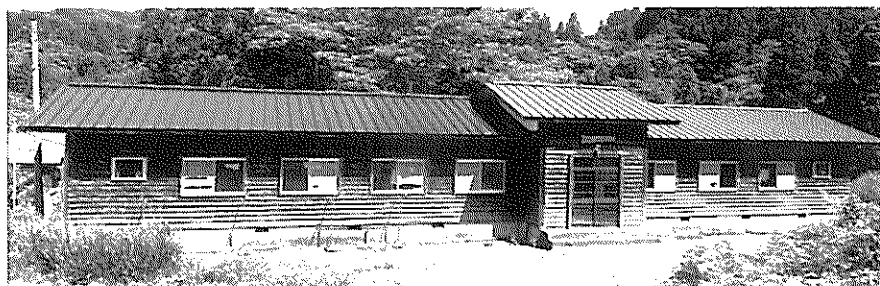
事務局 吉川区総合事務所

総務・地域振興グループ

TEL 025-548-2311

上越市地域活動支援事業（平成30年度 吉川区実施分）

提案事業の審査を行いました



<写真>

○川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業

移住促進の拠点施設として、川谷地域全体で組織する団体が再整備を行う。新たな移住者を呼び込む起爆剤としたい。

今年度は吉川区への配分額570万円を大きく上回る、13事業、補助希望額902万2千円の提案がありました。5月12日に現場視察と提案者によるプレゼンテーションを実施し、5月17日開催の地域協議会で採点・審査を行いました。

補助金の予算不足を考慮し、止む無く、得点の高い事業から順に内規に定める補助率で採択することと予め決定したうえで審査した結果、11事業が採択要件を満たすと評価したものの、その内、順位が低い2つの事業には少額の予算しか提示できず、提案団体から事業を実施しない旨の意向が示されました。これにより9事業を採択すべき事業とし、残額15万2千円については、追加募集を行わないことにしました。

審査した事業は、以下のとおりです。

<採択とした事業>

○歴史と文化のまちづくり事業

- ・提案者：歴史と文化のまちづくり研究会
- ・事業費：1,036,790円
- ・補助額：744,000円

・事業の概要：元禄9年の吉川区内に関連する村絵図を複製、展示公開することで地域の成り立ちの歴史等を継承する。また、入河沢城址遊歩道の整備により、地域住民の憩いの場、運動の場とする。加えて、戦後になり途切れつつある伝承・民話を集め、次世代に確実に継承するため、記録集の発行、歴史・民話伝承講座の開催等を行う。

○尾神岳サマーフェスティバル実施事業

- ・提案者：吉川観光協会
- ・事業費：1,127,660円
- ・補助額：873,000円

・事業の概要：「サマーフェスティバル」を区内観光拠点の一つである尾神岳で実施し、吉川区のPRと一層の誘客を図るとともに、今年度の取組では、若者に人気の「ラブベリー」のライブを中心に開催し、若者にスカイスポーツに関心を持ってもらうきっかけづくりを行う。

○吉川三大枝垂れ桜を維持管理事業

- ・提案者：吉川三大枝垂れ桜を守る会
- ・事業費：997,164円
- ・補助額：897,000円

・事業の概要：源地域の三大枝垂れ桜のうち、平成28年度に地域活動支援事業の採択を受けて樹木医の治療を行った村屋の枝垂れ桜は、今年、初めて開花した。見物客をより多くするために、報恩寺の枝垂れ桜を元気にするための樹木医による治療を実施するとともに、周囲の環境整備等を行う。

<地域活動支援事業提案事業の審査結果（つづき）>

○上越文化会館と連携した文化活動と地域活性化事業

- ・提案者：夢をかなえる会
- ・事業費：344,000円
- ・補助額：145,000円
- ・事業の概要：上越文化会館と連携することにより、吉川区だけではなかなか実現できないレベルの高い文化活動（林家正蔵他若手落語家による落語会）を開催する。

○スカイスポーツ振興特別事業

- ・提案者：尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会
- ・事業費：751,280円
- ・補助額：630,000円
- ・事業の概要：パラグライダー大会のCM放送やインターネット配信等により、特に若者層へのPRに力を置き、スカイスポーツ振興につなげるとともに、賑わいの創出を行う。そのほか、大会歓迎セレモニー、大会の実況解説等、記録映像の撮影・収録を実施する。

○長峰城址保存活用事業

- ・提案者：越後長峰城址保存会
- ・事業費：812,000円
- ・補助額：694,000円
- ・事業の概要：長峰城址本丸遺構（土塁・空堀等）の特徴的な箇所を樹木伐採を行う。また、長岡城・大胡城関係団体との交流、長峰城址見学会の実施、見学コースの整備、周辺の環境美化によって魅力の向上を図る。

○ゲートボール競技会等運営事業

- ・提案者：吉川ゲートボール協会
- ・事業費：721,000円
- ・補助額：209,000円
- ・事業の概要：ゲートボール競技会の運営及び進行の円滑化を図り、また、小学校のクラブ活動やビギナースクールの指導に活用するため、放送機器の整備を行う。

○原之町町内会伝承・伝統事業継承の活動と推進(継続事業)

- ・提案者：原之町町内会
- ・事業費：852,120円
- ・補助額：681,000円
- ・事業の概要：町内で発見された乾板ガラスの写真画像をデジタル記録にすることで、地域住民の過去の生活、文化、風景、町並みなど、区内の歴史的映像を次世代に伝承するほか、小中学校での鑑賞会、町内会や区内のイベント等での展示を行う。

○川谷地区交流施設「静山荘」を移住促進拠点にリニューアルする事業

- ・提案者：川谷もよりの将来をみんなで考える会
- ・事業費：924,622円
- ・補助額：675,000円
- ・事業の概要：老朽化した交流施設「静山荘」をリフォームするとともに、新たな発想で地域の魅力を体験してもらうイベントを企画することで、川谷地域への移住者を積極的に呼び込む拠点として活用する。また、楽しいことも大変なことも含めて、「川谷で暮らすこと」、「川谷で農業をすること」、「川谷で仕事をつくること」の3テーマを一緒に感じ、考えてもらう体験イベントを行う。

<補助金が不足したことで提案団体が取り止めた事業／不採択とした事業>

事業名	提案者	事業費	補助金の対応	事業内容の概要
吉川中学校 地域とのふれあい事業	吉川中学校後援会	1,030,000円	補助額152,000円では事業実施不可能	吉川中学校吹奏楽部は、地域イベントの賑わいづくりなど、地域を盛り上げる活動に積極的に参加してきたが、使用している楽器が老朽化して修理ができない状態になっている。また、今年度は9月の越後よしかわ酒まつりで新井吹奏楽団との合同演奏を予定しており、この際に楽器別の講習を受け、より質の高い演奏を目指すためにも、チューバ1台、ユーフォonium1台を購入する。
まちづくり情報の発信推進事業	まちづくり吉川	1,098,522円	補助額152,000円では事業実施不可能	特に力を入れている区内の地域住民への情報提供の取組強化のため、カラー印刷機を導入して紙面の鮮明化、事務改善を図るほか、区内の町内会、各団体にも利用を呼びかけ、地域活動への更なる支援を行う。
吉川町アマチュア無線クラブレピター機器更新事業	吉川町アマチュア無線クラブ	614,241円	不採択	上越地域のほぼ全域の通信をカバーしている尾神岳アマチュア無線レピターが老朽化しているため、機器を更新するとともに、災害時、緊急時の連絡機能の補完機能として活用する。また、地域の無線愛好家の交流により、愛好家の増加を図るとともに、災害時、緊急時を想定した通信訓練等を行う。
長峰町内会花いっぱい運動事業	長峰町内会	47,000円	不採択	吉川中学校生徒会の花いっぱい運動の呼びかけに積極的に応えることにより生徒会の励みになるとともに、運動の広がりを期待する。具体的な取組として、長峰町内会各所の環境美化を促進するため、マリーゴールド、ビオラの植栽及び除草等の管理を行う。

—地域との意見交換会—

吉川区「出張」地域協議会が区内を一巡しました

平成 28 年の秋から区内の地区ごとに巡回し、地域の皆様と意見交換を行ってきた吉川区「出張」地域協議会が、勝穂地区での開催をもって区内の各地区を一巡しました。参加された皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり、泉谷地区、勝穂地区での様子を報告します。

<泉谷地区>

○日時、場所：平成 30 年 1 月 18 日（木）午後 7 時から、吉川地区公民館泉谷分館で開催

○参加者数：14 人

○当日の意見（抜粋）：

- ・世帯数、人口が減って、事業をするにも縮小傾向になっている。若者が就職すると出て行き、高齢化が進む。原因の一つが就職先、地元の不便さではないか。若者が定着できる施策を議論して欲しい。
- ・県道脇の歩道除雪をして欲しい。通学道路になっていて、小学校 PTA、保護者からも要望が出ている。
- ・空き家が 1 軒あるが、所有者が複雑で壊せない。年々老朽化が進み、いつ崩れるか分からない。県道に面していて、通学路になっている。強制的に撤去してもらえないか。
- ・農業後継者がいなくなり、高齢化で耕作をやめる農家が増えている。農地荒廃と同時に、普請に出られる若い人や集落の役員ができる人も減って、集落の維持が困難になっている。子どもたちが近くで暮らせるいい方法はないか。



<勝穂地区>

○日時、場所：平成 30 年 3 月 15 日（木）午後 7 時から、吉川地区公民館勝穂分館で開催

○参加者数：24 人

○当日の意見（抜粋）：

- ・高齢化が進み、体育祭の参加人数を集めるのも困難になったので考えて欲しい。
- ・業務が集約され、区の総合事務所で即答や解決ができない事案が増えた。施設の利用申込等も、担当課の方針で時間帯が決められていて、地域の実態に合わない。吉川区総合事務所で裁量を持ってできるようにするか、職員がきちんと対応できるようにして欲しい。
- ・災害時、避難所に歩いて行けない人が多くなると誰かが連れて行かなければいけない。人数的に困難なので、避難所までの移動方法を集落ごとのものでなく、他の移動手段を検討して欲しい。
- ・勝穂線では車にすれ違わなくなった。嫁さんや婿さんをもろうにもなかなか結婚できない。近くに雇用がないのが大きな原因の一つではないか。



吉川区地域協議会では、皆様からいただいた意見を『安全・安心部会』、『暮らし・支え合い部会』、『次世代担い手部会』で分担し、対応を協議しています。

自主的審議事項に係る 「防災行政無線に関する勉強会」と 「上越市消防団吉川方面隊幹部との意見交換会」 の取組について

前号の地域協議会だよりに掲載したとおり、吉川区地域協議会では「出張」地域協議会でいただいたご意見等を踏まえて、自主的審議事項として「防災行政無線を含む情報伝達の確保について」と「地域消防団への支援活動及び今後について」の2案件を検討しています。これに関連して地域協議会では、去る2月23日（金）に吉川コミュニティプラザにおいて「防災行政無線に関する勉強会」と「上越市消防団吉川方面隊幹部との意見交換会」を開催し、委員の情報収集と問題点の洗い出しに努めました。

市の担当部局や消防団と認識を共有するには今後も取組が必要と思いますが、情報収集に努めながら、現状を少しでも改善できるよう、審議してまいります。



2018 よしかわ地域づくりフォーラムで各部会長が発表

3月18日（日）に行われた『2018 よしかわ地域づくりフォーラム～気軽に!楽しく!まちづくりを考えるフォーラム!～』において、吉川区地域協議会から「安全・安心部会」の平山部会長、「暮らし・支え合い部会」の上野部会長、「次世代担い手部会」の関澤部会長が発表者（兼パネリスト）として登壇し、部会の取組状況等を発表しました。

地域協議会や各部会の取組をお伝えするとともに、参加者に対して、吉川区の現状の課題を提起する良い機会になりました。



【編集後記】

日増しに暑くなり、早いもので一年の半分が終わってしまいました。

平成28年の秋から各地区に伺った「出張」地域協議会が一巡し、地域の生の声、貴重なご意見をたくさんいただくことができました。ありがとうございました。今後、「すこやかなまちづくり」を目指して協議を行ってまいります。

地域協議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ傍聴にお越しください。

第34号たより編集委員
山越 英隆、横田 弘美